

# その避難訓練，形骸化していませんか？

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大木聖子

## 第三次学校安全推進計画で改善を指摘

### 1. 現状の訓練の課題 → 校庭以外の避難先が検討されていない

- 雨天だったら？
- けが人が出たら？ 腰が抜けたら？
- 過呼吸で立ち上がれなかったら？
- 校庭への道中で怪我をしたら？
- 校庭が液状化したら？
- 立て続く余震の中，集団で急いで階段を移動して校庭に向かうことへのリスク
- 阪神淡路大震災以降，耐震化された学校・新耐震基準の学校に倒壊事例なし

過去の学校管理下での地震  
災害で実際に起きている

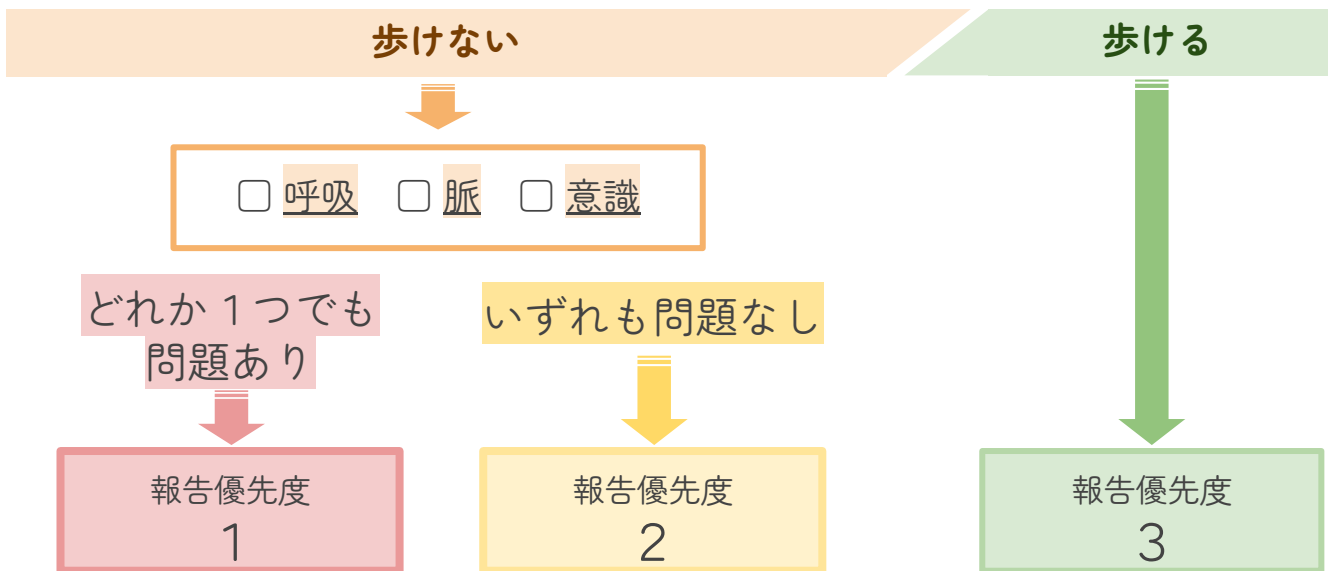
→ 校庭避難の他に「教室内待機」の訓練もやって，安全に避難できる場所を増やしましょう

### 2. 「教室内待機」かつ「けが人あり」を実動訓練で再現して見えてきた課題

- 保健室がパンク状態
    - 軽症者から次々に搬送されてきて大混乱 → [下記3](#)を参考に改善可能
  - 停電下の情報共有が困難
    - 重症者の情報が共有できないまま時間が経過
    - 引き渡しの開始情報がないまま個別に対応
- 何の情報を / 誰が / どこへ / どのように 伝達するのかを決めておく

→ 次ページ以降の[封筒訓練](#)で改善可能

### 3. けが人の見極めと報告順位



けが人の発見 → 声掛け → 「赤・黄」の情報共有・応急処置 → 必要に応じて搬送

訓練は，うまくやることが目的ではありません。学校全体で，発災時の課題を見つけ，自校の情報共有のあり方や本部の設置場所等について考える機会としましょう。

訓練の課題や改善点，実動訓練の映像などが10分にまとまった動画です → 実動訓練用に作成したのですが，参考情報としてご活用ください。（リンクは校内に留めてください）



# 封筒訓練を始める前に

## □ 教室内待機を周知しましょう

- 「教室内待機バージョンの訓練をやる日」「火災や津波は想定しない」などを教職員に周知しましょう。

## □ けが人が出たら、フロアと本部への情報共有

- 停電していて、放送や電話も使えません。
- もしけが人が出たら、どのように応援要請をする？

➡ **フロアに情報共有 ・ 本部に救急要請**

## □ 情報共有の方法を決めましょう

- フロアでまとめてから誰かが本部に行く？
- 管理職が全教室をまわる？
- 中央階段に情報を集めて、そこを管理職が確認？
- 校庭から管理職がハンドマイク？
- トランシーバーの活用？

➡ **校種や規模、校舎の構造によって方法はさまざま**  
自校にとって、今年度のメンバーにとって、一番いい方法を  
試行錯誤しましょう。そのための訓練です。

(予定調和にうまくやるために訓練があるのではありません)

## □ 本部の場所を決めましょう

- 本部は、校長室？ 職員室？ 担架のある場所？
- けが人を急いで保健室に搬送したい担任の動線を考えて、本部(発災直後の臨時的な本部)の配置場所を決める。
  - 過去の訓練事例では、保健室前の廊下とした学校が比較的うまく情報共有をしています。ご参考まで。

# 封筒訓練 教材キット

## ● 目的：

- 情報共有のあり方, 本部の設置場所などの改善点を探すために行う教員向けの訓練. うまくやることは目的ではない.

## ● ポイント：

- 「学校全体のどこで何が起きているのか誰も把握できていない状況」にしない.

### 個人としての目標

- ・ 重症度の判断
- ・ 応援要請・応援対応
- ・ 全体を俯瞰した動きを意識

### 組織としての目標

- ・ 赤・黄のけが人の情報共有（報告・収集）
- ・ 担架の持ち出し先の決定・搬送

## ○ チームとして動く

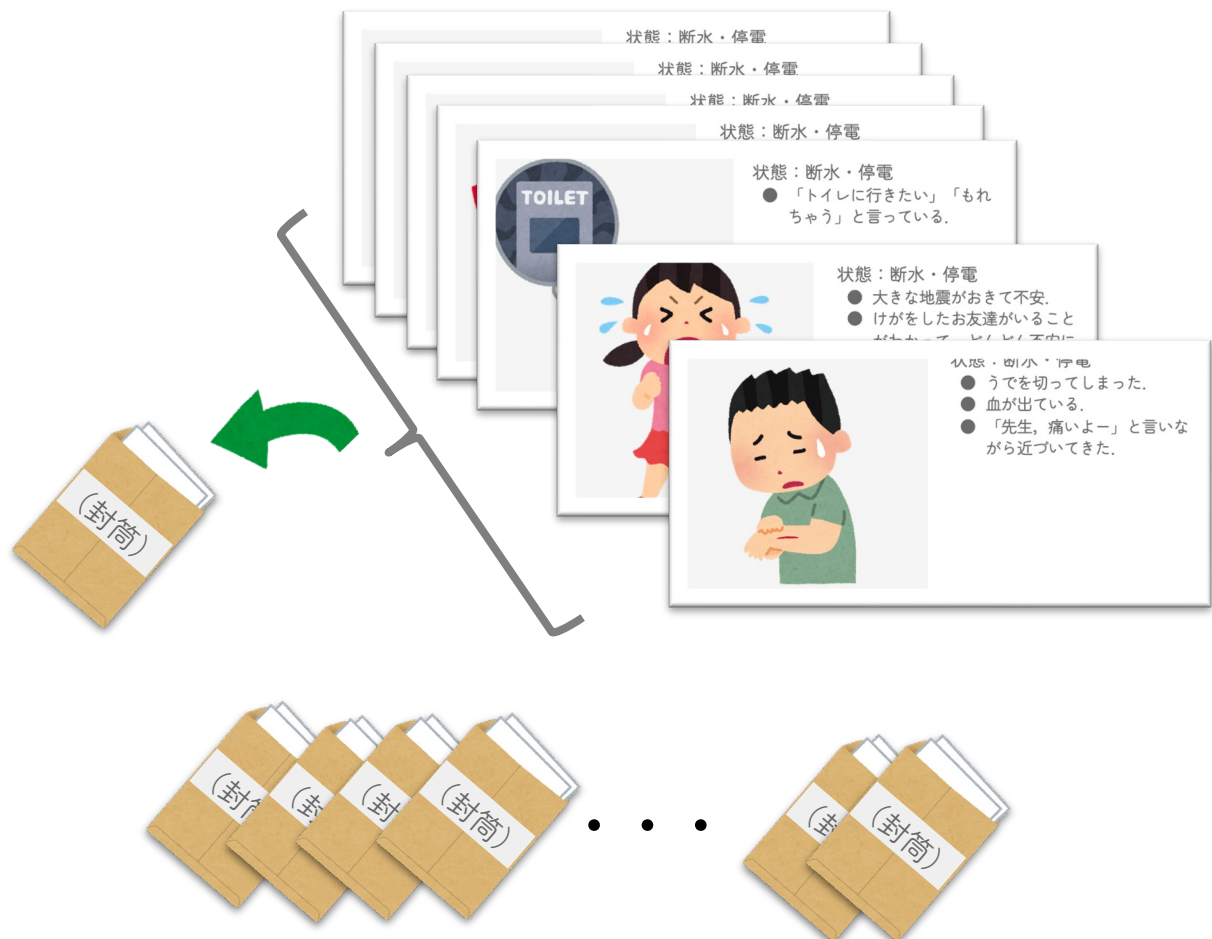
- 困ったら声を上げる / 念のための伝達も臆せずにする.
- まずはフロア内でOne Team. 次いで, 学校全体でOne Teamとなる.
- 臨機応変にそれぞれの教員が自分で考えて動く.

**あくまでも教員間の連携が目的. 封筒内のけがが赤・黄・緑の何に対応するかを判断できるようになることは目的ではない.**

色判断を間違えても, 自信がなくて他の教員と相談してもいい. 訂正してもいい. 大事ななのは, それらができる雰囲気になっているかどうか.

# 封筒訓練のやり方（準備編）

1. クラスの数だけ封筒を用意する（使い古してOK）。
2. 本資料にある「けが人カード」を印刷して切り離す。  
学校の規模にもよるので、下記はあくまで目安：
  - ・ 色なし → 全クラスに複数枚
  - ・ 緑 → 全クラスに数枚
  - ・ 黄 → 学校全体で2-5枚
  - ・ 赤 → 学校全体で1-2枚
3. 用意した封筒にランダムに入れる
  - ✓ ランダムと言いつつ、低学年には赤は入れない、フロアごとにバランスを取る、などは自由に采配。



クラスの数だけ封筒を用意

# 封筒訓練のやり方（実施編）

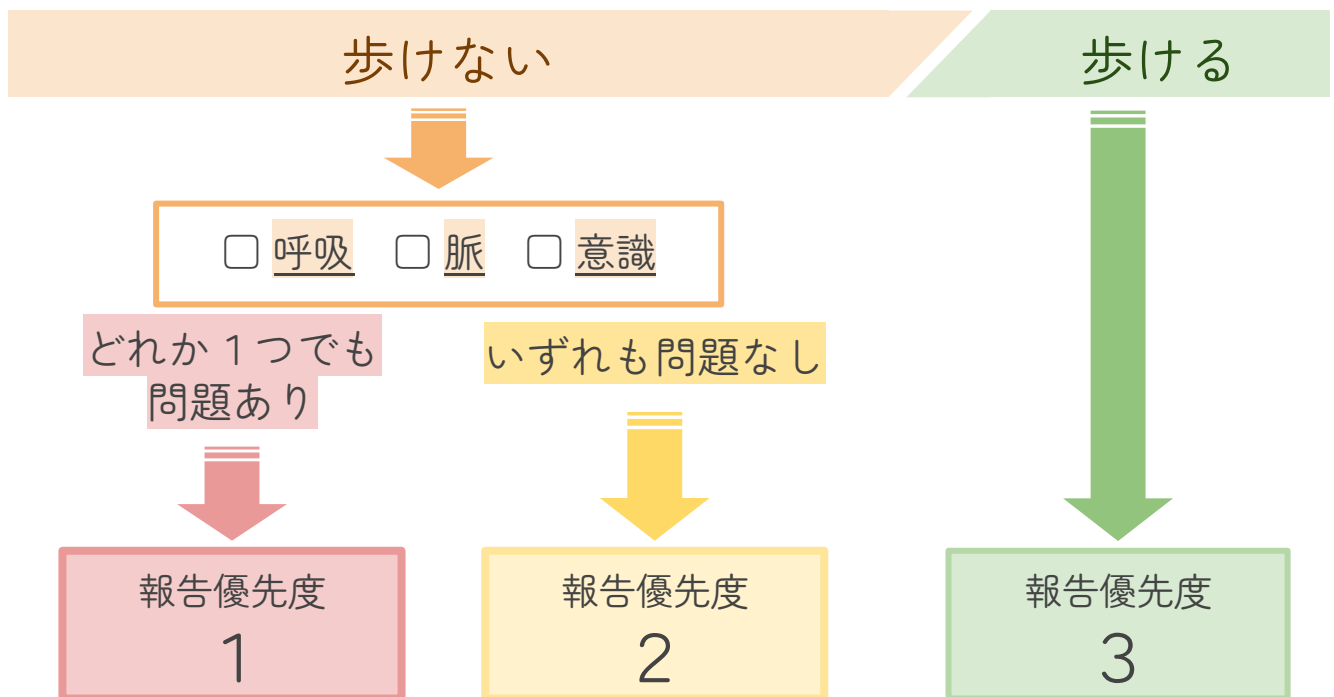
1. 各教員は封筒をもらう。訓練開始まで開けない。
2. 訓練開始, 子どもたちへの声掛け後に開封。
3. 情報伝達の開始:
  - ・ Step1 : 封筒内の重症度を判断
  - ・ Step2 : フロアで情報共有（無事報告/応援要請）
    - 赤・黄なし → 廊下に出て「○組無事です!」
    - 赤・黄あり → 「○組, 赤です! 応援お願いします!」
  - ・ Step3 : 本部へ報告

**※ 学校ごとのやり方で本部へ情報共有**  
**(試行錯誤のために本訓練を活用する)**
4. 訓練の終了: 以下のいずれでも良い
  - a. 時間で終わらせる(15分たったら終了, など)
  - b. 本部が情報共有したら終了
  - c. 本部の情報共有をフロアに戻して終了
  - d. 赤・黄のカードを担架で保健室に搬送して終了。
  - e. 赤・黄のカードを担架で保健室に搬送, 本部の情報をフロアに戻し, 引き渡しの開始を宣言して終了

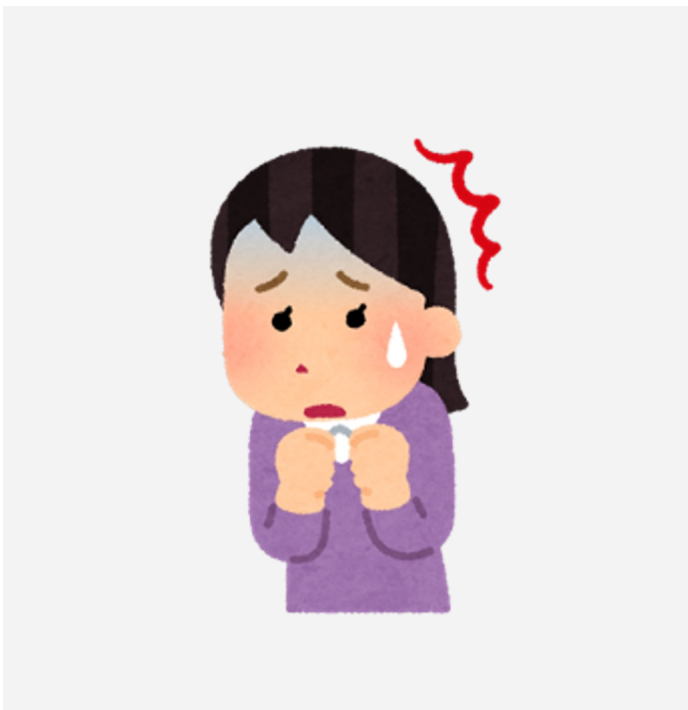


# 色なしカード

- 赤・黄・緑のいずれのけが人でもないが、不安などで平静ではない状態。
- どのクラスにも複数枚（何枚でも）入れてよい。

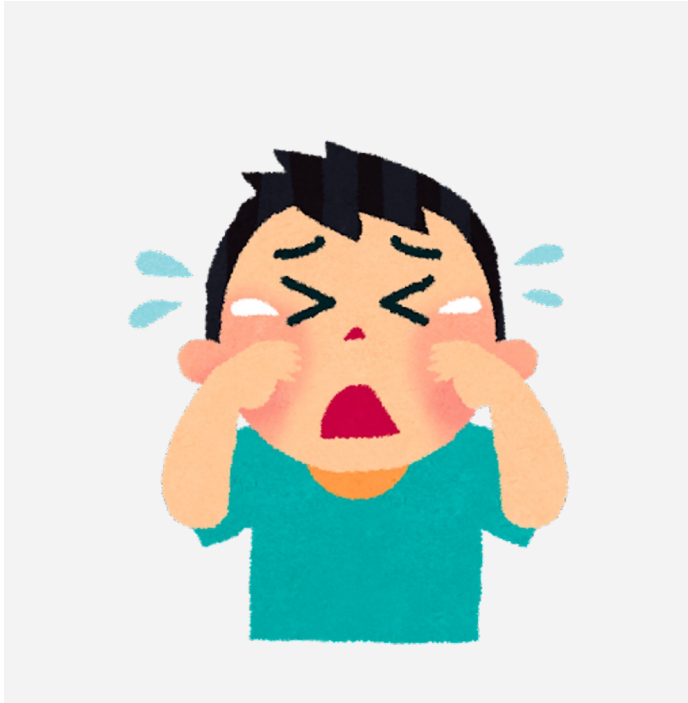


けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



### 状態：断水・停電

- 大きな地震がおきて不安.
- けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる.
- 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている.



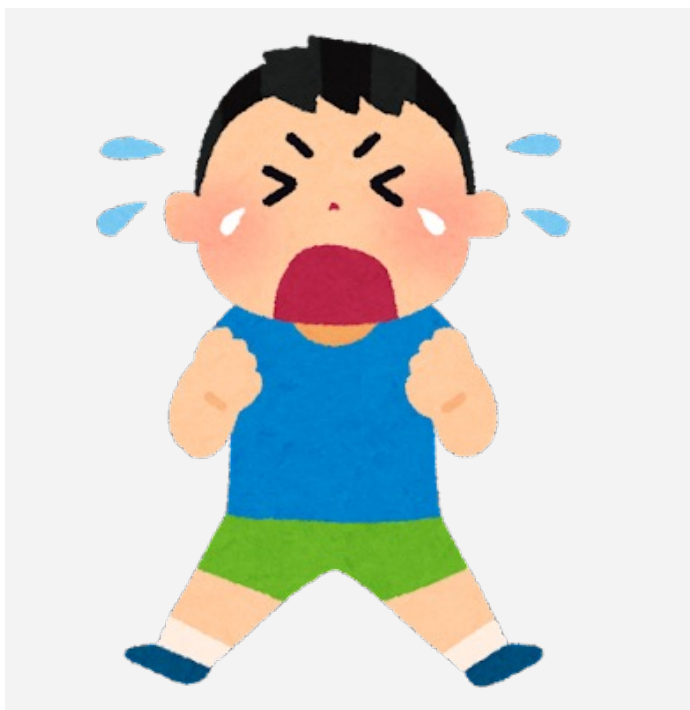
### 状態：断水・停電

- 大きな地震がおきて不安.
- けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる.
- 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている.



### 状態：断水・停電

- 「家族が心配だから帰る」「おうちに帰る」と連呼して、外に出ようとしている.



状態：断水・停電

- 大きな地震がおきて不安.
- けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる.
- 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている.



状態：断水・停電

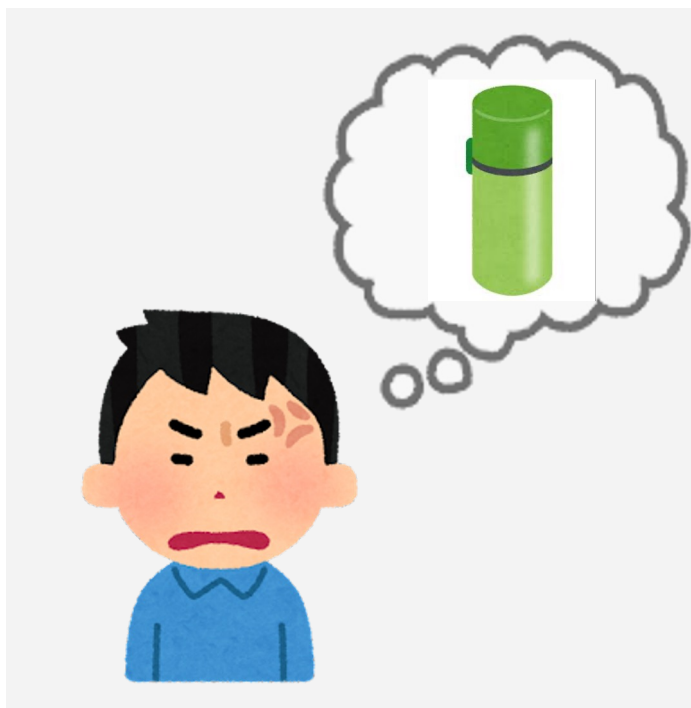
- 大きな地震がおきて不安.
- けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる.
- 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている.



状態：断水・停電

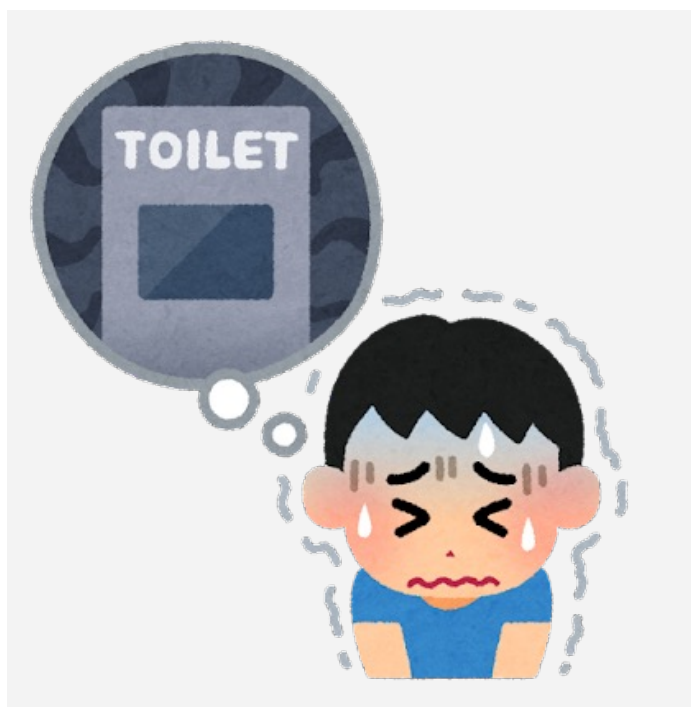
- 「家族が心配だから帰る」「おうちに帰る」と連呼して、外に出ようとしている.





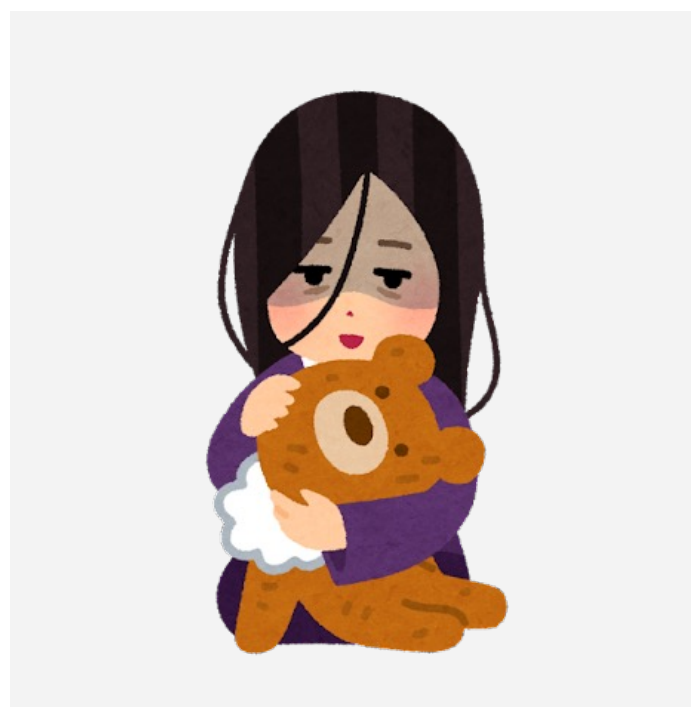
状態：断水・停電

- 「水筒の中身がなくなっちゃった」「のどがかわいた」と言って、イライラしている。



状態：断水・停電

- 「トイレに行きたい」「もれちゃう」と言っている。

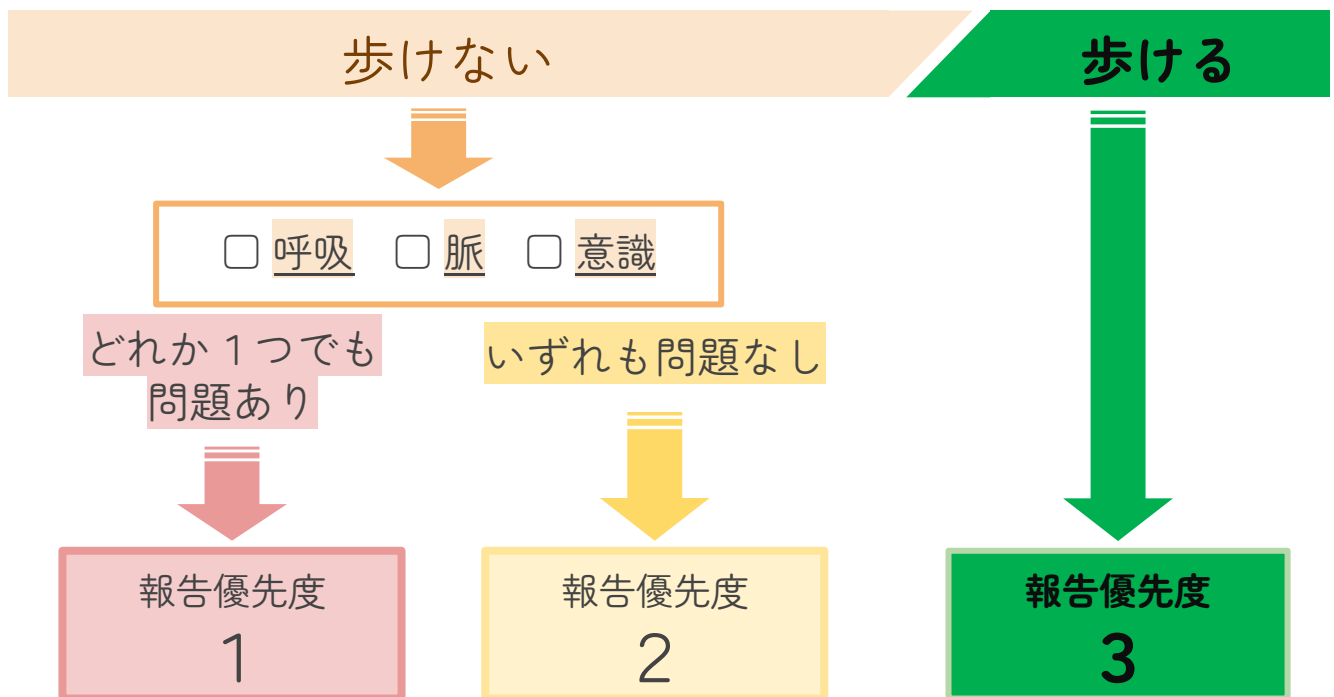


状態：断水・停電

- 不安が高まり、「みんな死ぬんだ」「もう終わりだ」などわけのわからないことを言っている。
- 周囲の子どもたちがどんどん不安になっている。

# 緑カード

- けがをしているが「歩ける」状態.
- どのクラスにも複数枚入れてよい.



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



### 状態：断水・停電

- サルのポーズをしているときに、指をはさんでしまった。
- 出血はしていない。
- 指がはれて「痛い、痛い」と言いながら、助けを求めている。



### 状態：断水・停電

- 強いゆれで転んで、ひざをすりむいた。
- 痛さと不安とで、今にも泣き出しそう。



### 状態：断水・停電

- 強いゆれや何度も起きる余震で、不安が大きくなり、お腹が痛くなる。
- 「トイレに行きたい」と言っている。
- トイレは断水している。



状態：断水・停電

- うでを切ってしまった。
- 血が出ている。
- 「先生、痛いよー」と言いながら近づいてきた。



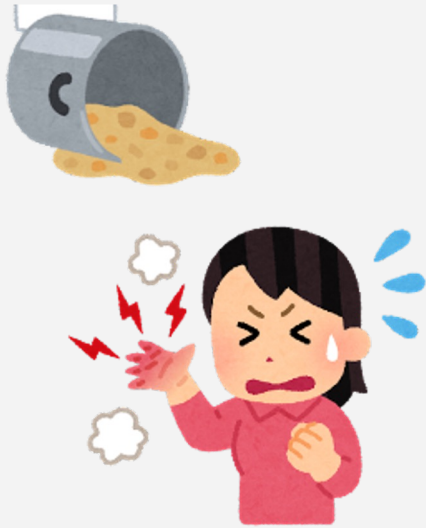
状態：断水・停電

- 強いゆれで転んで、ひざをすりむいた。
- 痛さと不安とで、今にも泣き出しそう。



状態：断水・停電

- 強いゆれや何度も起きる余震で、不安が大きくなり、お腹が痛くなる。
- 「トイレに行きたい」と言っている。
- トイレは断水している。



### 状態：断水・停電

- 給食の熱い食缶がたおれて手にかかり、やけどをした。
- 右手の3本くらいが赤く水ぶくれになっている。
- 「熱い！熱い！」と言っている。



### 状態：断水・停電

- 地震がこわくて、過呼吸になっている。
- フラフラしているが、支えれば歩ける。
- 余震や悲鳴に反応して、過呼吸をくり返す。

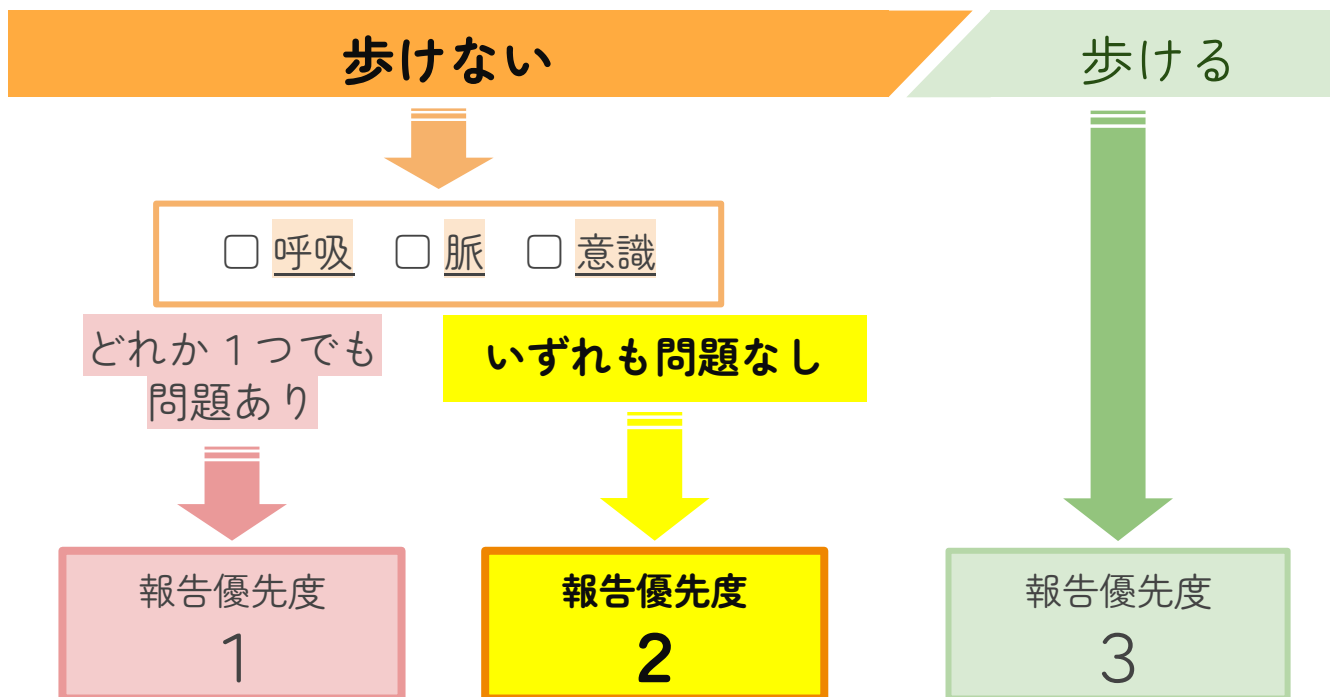


### 状態：断水・停電

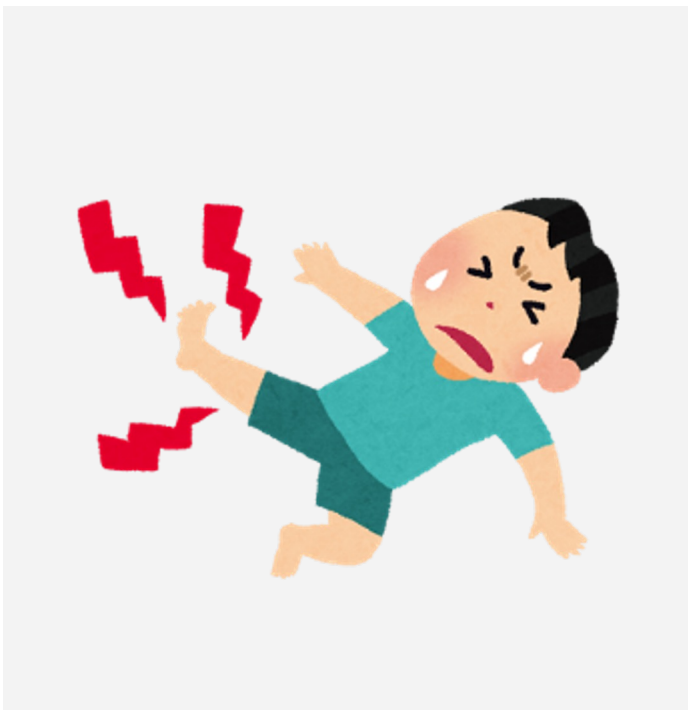
- 地震がこわくて、過呼吸になっている。
- フラフラしているが、支えれば歩ける。
- 余震や悲鳴に反応して、過呼吸をくり返す。

# 黄色カード

- 「歩けない」 けがをしている。意識や呼吸・脈には異常なし。
- 学校全体で2～5枚くらい。



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



### 状態：断水・停電

- 強い揺れで転んでしまい、右足の親指を強くぶつけた。
- 痛くて苦しんでいる。歩けない。
- 靴をぬがすと、内出血しており、かなりはれている。



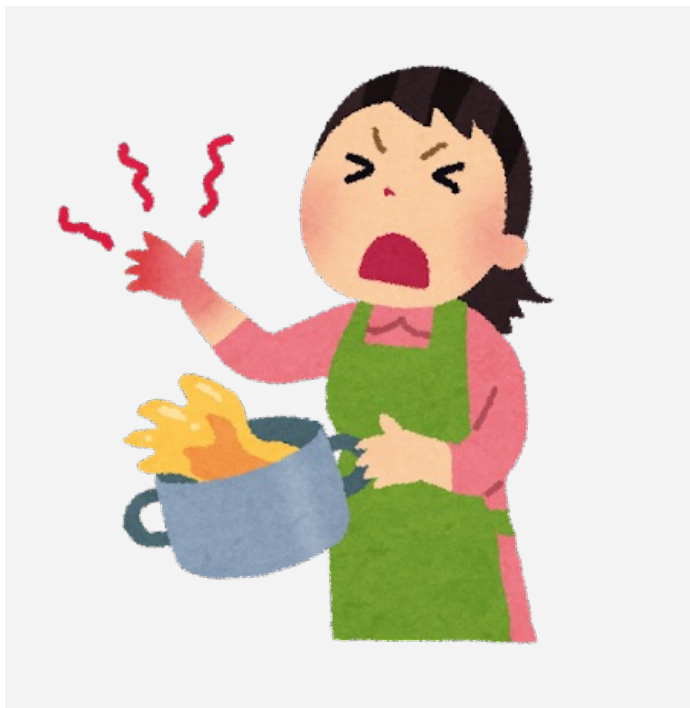
### 状態：断水・停電

- 地震の揺れで気持ち悪くなった。
- 身動きが取れないほどの腹痛もある。
- 寒気がして、ガタガタふるえている。



### 状態：断水・停電

- 突然の地震に驚いて腰がぬけてしまった。
- 立つこともできないが、本人も何がなんだか分からない状況。



### 状態：断水・停電

- 給食の熱い食缶がたおれて右手と右足の膝から下全部にかかり、大やけどをしている。
- 「熱い！熱い！」と泣き叫んでいる。



### 状態：断水・停電

- トイレからうめき声が聞こえてくる。
- 身動きが取れないほどの腹痛。
- 寒気がして、ガタガタふるえている。



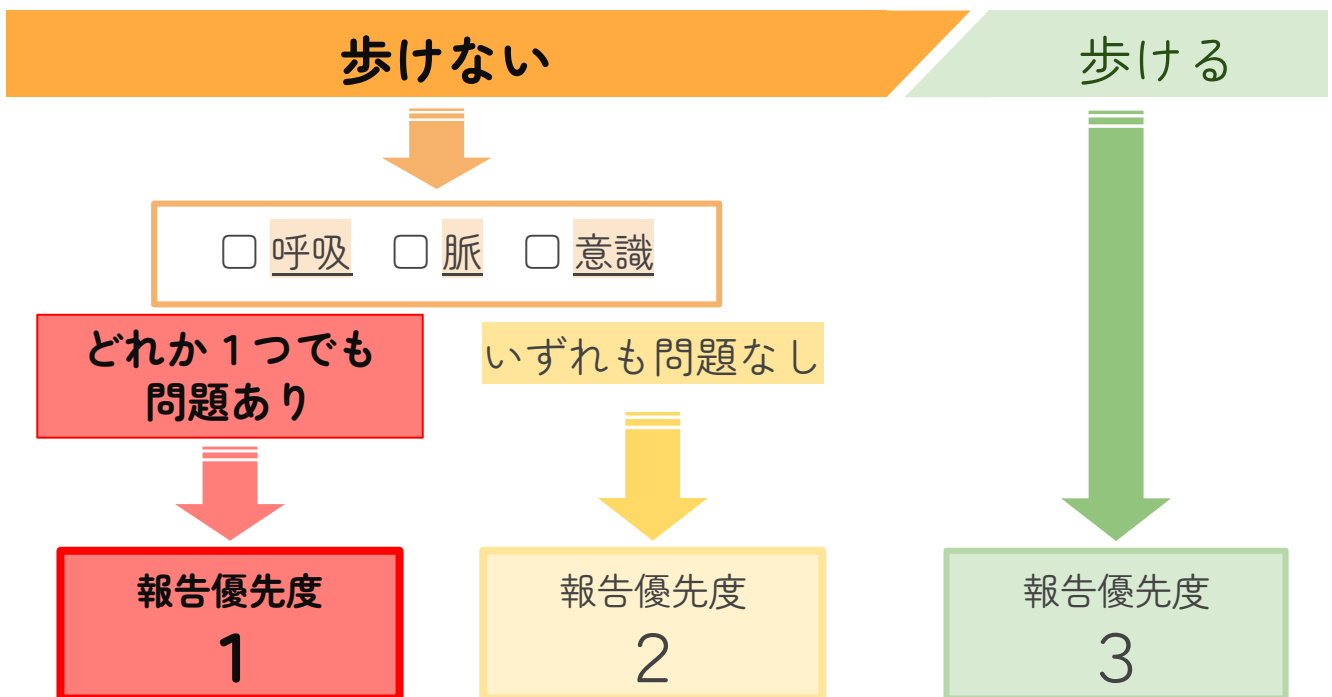
### 状態：断水・停電

- 突然の地震に驚いて腰がぬけてしまった。
- 立つこともできないが、本人も何がなんだか分からない状況。

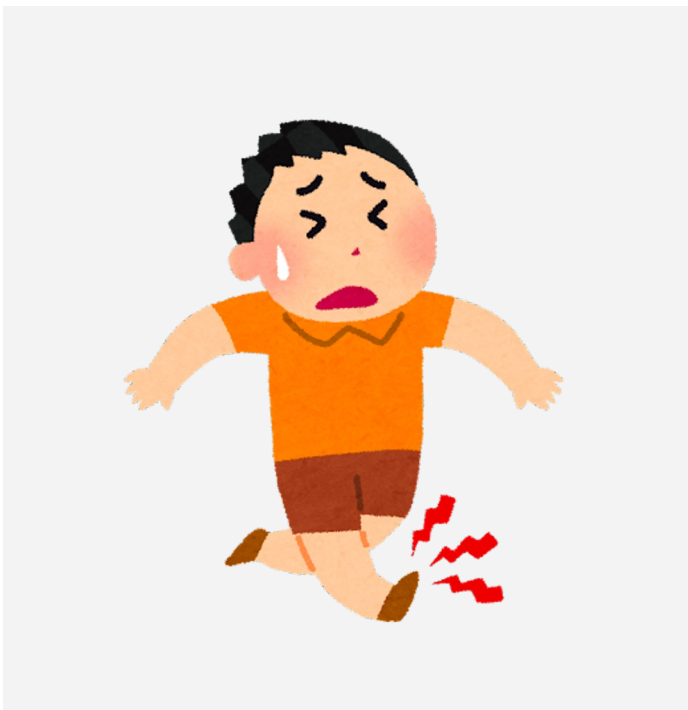


# 赤カード

- 「歩けない」 けがをしており，意識や呼吸・脈に異常がある．
- 緊急を要するけが．
- 学校全体で1～2枚くらい．



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



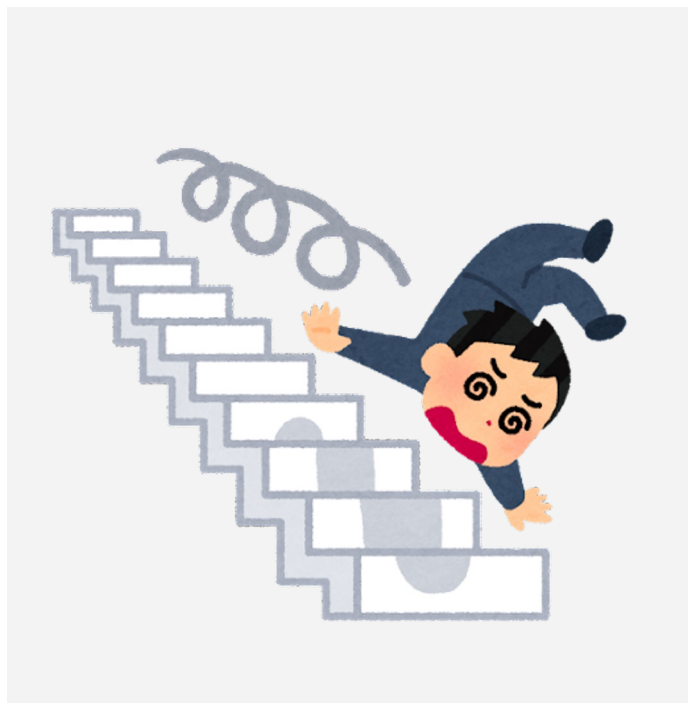
### 状態：断水・停電

- 揺れにおどろいて階段から落ち、足首をひねった。
- 痛くて何も話せない。
- 肩を借りても歩けない。
- 時間がたつと、吐き気や寒気がしてくる。



### 状態：断水・停電

- 揺れにおどろいて転び、お腹を強く打ち付けた。
- とっても痛がっている。
- 話しかけても返事がうつろ。
- 視点を合わせて話せない。



### 状態：断水・停電

- ゆれにおどろいて階段から落ち、頭を打った。
- 大量出血している。
- 最初は返事をしているが、だんだんと話しかけても反応しなくなってきた。